

経済学部 経済・経営学科 カリキュラムツリー(2024年度以降入学生)

| 区分 | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | |
|------------|--|---|---|---|---|-------------------------------------|------------------------|----|
| | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 |
| 総合共通科目 | 教養教育科目「文化・芸術領域」「歴史・社会領域」「人間・環境領域」 言語・異文化理解科目「日本語」「英語」「中国語」「韓国語」等 情報教育科目「データサイエンス入門」「情報処理演習Ⅰ～Ⅲ」 健康教育科目 | | キャリア教育科目「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」「インターンシップ(企業研修)」 | | スキルアップ講座A～S(ITパスポート、TOEIC、公務員養成) | | キャリア教育科目「キャリア基礎演習Ⅰ～Ⅲ」 | |
| 学部共通科目 | ○経済学概論 ●経営学概論 ○簿記入門 | ○ミクロ経済学入門 ○マクロ経済学入門 ○統計学入門 | | | | | | |
| 学科共通科目 | | | ○ミクロ経済学 ○マクロ経済学 ○人口学 ○金融論入門 ○財政学入門 ●会計入門 ●企業経営入門 ●会社入門 ○会社法 ○民法(総則・物権) ○日本経済論入門 ○経済史 | ○地域経済論 ○経済政策入門 ○金融論 ○財政学 ○民法(債権) ○日本経済論 ○経営史 | ○経済政策 ●租税制度 ○公共経済学入門 ○国際経済学 ○労働と法 ●民法(親族・相続) | ○公共経済学 | | |
| 生活経済領域 | ●観光地理(国内) ●旅行業務取扱管理者演習Ⅰ ●旅行業務取扱管理者演習Ⅱ ●旅行業務取扱管理者演習Ⅲ | | ●ビジネス実務総論A ●ビジネス実務総論B ●ビジネス実務演習A ●寄附講座Ⅰ | ●ビジネス実務演習B ●社会人基礎力演習Ⅰ ●寄附講座Ⅱ | ●社会人基礎力演習Ⅱ ●寄附講座Ⅲ | ●寄附講座Ⅳ | | |
| 金融・会計領域 | | ○初級簿記 ●簿記3級演習Ⅰ ●簿記3級演習Ⅱ ●FP3級演習Ⅰ ●FP3級演習Ⅱ | ○中級簿記 ●簿記2級演習Ⅰ ●FP2級演習Ⅰ ●金融と会計 | ○上級簿記 ●簿記2級演習Ⅱ ●FP2級演習Ⅱ | ○管理会計論 ○国際金融論 | | | |
| 公共マネジメント領域 | | | ●非営利組織論 ●憲法 ●公務員実践演習Ⅰ | ●公共マネジメント論 ●公務員実践演習Ⅱ | ●地方自治体の財政 ○交通論 ○行政法(作用法・組織法) ●公務員実践演習Ⅲ | ○社会保障論 ○医療・福祉マネジメント ○行政法(教済法) | ●公務員受験対策Ⅰ ●公務員受験対策Ⅱ | |
| 経営管理領域 | ●ビジネス系検定演習 | | ○商法(総則・商行為) ○経営管理論 ○販売管理論 ●環境のビジネス ●ISO内部監査員(環境マネジメント) | ○日本経営史 ○経営戦略論 ○流通管理論 ○マーケティング論 ●経営組織論 ○人的資源管理論 ○生産管理論 | | | | |
| スポーツビジネス領域 | | ●スポーツビジネス入門 ●イベント論 | ●スポーツコーチング ●スポーツと法 ●スポーツイベント検定演習 ●スポーツビジネス企画演習Ⅰ | ●スポーツビジネス実践 ●スポーツビジネスインターンシップ ●スポーツ施設管理 ●スポーツビジネス企画演習Ⅱ | ●地域とスポーツ ●スポーツマネジメント | | | |
| データサイエンス領域 | | ●データサイエンス演習 | ○経済統計 ○統計学 ●プログラミング基礎 ●MOS演習Ⅰ | ●MOS演習Ⅱ | | | | |
| ゼミナール科目 | | | ●ゼミナールⅠ | ●ゼミナールⅡ | ●ゼミナールⅢ | ●ゼミナールⅣ | ●キャリア発展ゼミナール | |
| 自由選択科目 | 教職課程関連科目、K-CIP関連科目、他学部・他学科等の履修科目 | | | | | | | |
| 自由科目 | 教科に関する専門教育科目、教職に関する専門教育科目 | | | | | | | |

教育課程編成・実施の方針 (CP)
 経済・経営学科は、大学の教育課程編成・実施の方針 (CP) に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については、以下のとおり方針を定める。

【教育内容】
 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目、専門教育科目、自由選択科目を配置し、6つの領域(生活経済、金融・会計、公共マネジメント、経営管理、スポーツビジネス、データサイエンス)で求められる幅広い知識を修得する科目を配置する。
 2. 専門教育科目は、「学部共通科目」「学科共通科目」「領域科目」「ゼミナール科目」で区分し、経済・経営分野の基礎的内容から応用・発展的内容(生活経済、金融・会計、公共マネジメント、経営管理、スポーツビジネス、データサイエンス)までの知識と技能を体系的に修得できるような科目を配置する。
 3. さらに、ゼミナール科目は、2年次より少人数クラスで展開し、4年次に卒業研究に取り組む科目として配置する。これらの科目を通して、国内外において活かせる「課題探求能力」、「課題解決能力」、「調査・分析能力」、「コミュニケーション能力」、「実践力」を育む。

【教育方法】
 1. 主体的な学びの力を高めるためにアクティブ・ラーニングを取り入れた教育方法を実施する。
 2. ループ学習においては、協働性・協調性を身に付け、課題解決能力や実践力が身に付けられるよう指導する。
 3. 習習においては個別の習熟度を見極め、きめ細やかな個別指導を実施する。

【教育評価】
 1. 授業は、シラバスに基づいた到達目標に対応した評価方法を導入し、厳格な成績評価によって単位を付与する。
 2. 年間の学修成果は、卒業研究(必修)によって行い、総合的に評価する。

卒業認定・学位授与の方針 (DP)
 経済・経営学科は、総合的な教養、経済・経営分野での多様な専門知識を身に付け、社会におけるさまざまな問題を解決できる経済・生産活動の直接的な担い手となる人材を養成することを旨とする。この基本理念をもとに、以下を満たした学生に卒業を認定し、学位を授与する。

【知識・技能】
 学士(経済学)として相応しい教養を身に付け、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身に付けている。

【思考力・判断力・表現力】
 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身に付けている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見出し、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身に付けている。

【主体性・協働性・倫理性】
 経済・生産活動の担い手として、高い倫理性をもって自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身に付けている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身に付けている。